

yamashita
TOTAL MEDICAL SUPPORT

山下医科器械株式会社

〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通三丁目6番15号

NOF 天神南ビル 6階

TEL 092-726-8200 / FAX 092-726-8212

<http://www.yamashitaika.co.jp>

yamashita
TOTAL MEDICAL SUPPORT

Interim Business Report 2011

2010.6.1 ▶ 2010.11.30

山下医科器械株式会社
証券コード：3022

yamashitaが目指すもの

医療にまつわるあらゆるニーズにお応えし
お客様に心から満足していただくこと。
それが私たち山下医科器械が目指す
「トータル メディカル サポート」です。

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
2011年5月期第2四半期連結累計期間（2010年6月1日から2010年11月30日まで）のビジネスレポートをお届けするにあたり、ご挨拶をかね、営業の概況等についてご報告申し上げます。

2011年2月



代表取締役社長
山下 尚 登

当第2四半期の営業概況について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の改善を背景として輸出や生産は緩やかな回復基調にあったものの、厳しい雇用情勢や各種政策効果の反動などによる個人消費の減速に加え、デフレや円高の影響等により、下振れ懸念を含みつつ不安定な状況で推移いたしました。

医療業界におきましては、平成22年4月の診療報酬改定により、医療機関によっては増収効果が見られるものの全体的には医療機関の経営環境は厳しく、当社グループが属する医療機器販売業界では一層の競争激化に伴って、一部に業界再編の動きも見られました。

このような状況の下、当社グループでは、SPD（院内物品管理システム）契約施設の増加に対応するため、平成22年4月に立ち上げたSPDセンターが本格稼働体制に入り院内物品管理による業務効率化提案を行っております。また、平成22年4月より稼働いたしました「MEDiPlaza（メディプラザ）福岡」において医療IT化の情報提供を行うなど、総合的コンサルティング機能を発揮しながら、積極的な営業展開を図っております。本年度は大型設備案件の減少や償還価格の引き下げなど厳しい環境下にはありますが、次

期3ヵ年へ向けた事業基盤の確立を図るべく、各施策への取組みを強化しております。

なお、平成21年4月に開業いたしました広島県福山市における医療モール事業におきまして、クリニック部分のテナント誘致が計画より遅延しているため、今後テナント誘致が進まない場合の事業リスクを外部の専門家の意見も考慮して検討した結果、収支計画を見直す必要が生じ、当第2四半期連結累計期間において固定資産の減損処理を実施いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は185億65百万円（前年同四半期比2.4%増）となり、利益面につきましては、新設したSPDセンターの初年度経費の増加等により、営業利益は30百万円（前年同四半期比77.3%減）、経常利益は74百万円（前年同四半期比56.3%減）、また、四半期純損失は、医療モールの減損損失による特別損失4億31百万円を計上したため、3億52百万円の四半期純損失（前年同四半期は1億3百万円の四半期純利益）となりました。

医療の現場では、迅速かつ確かな診断や高度な技術を伴う治療が求められています。また、患者の皆様 safely 安心な療養環境の提供も重要です。社会から期待され、そのような環境下に置かれている医療機関、医療スタッフの皆様をサポートし続けること、それが山下医科器械の使命であります。

“本物の”サポートを実現するためには、

- 的確なレスポンスで、最新の知識・情報をいち早く提供できる営業体制
- 製品の品質を担保し、ジャストインタイムにお届けする物流体制
- ご購入いただいた医療機器等を安心してご使用いただくためのメンテナンス体制

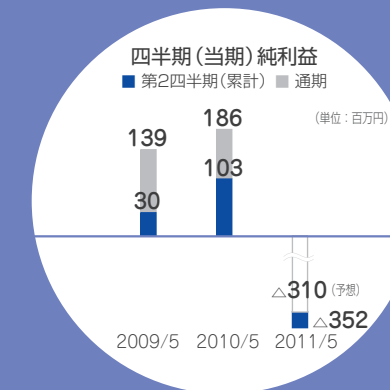
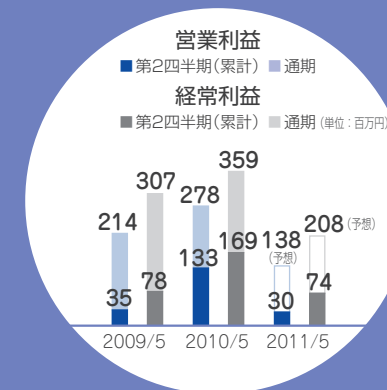
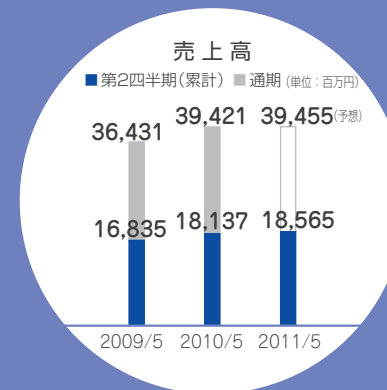
そして何よりも、「医療に貢献する」という高い意識をもった社員を育成する体制が必要です。

山下医科器械は、医療に携わっている企業としての責任を、社員一人ひとりが共有し、お客様である医療機関の皆様、その先の患者の皆様をサポートし、社会に貢献できる企業を目指しております。

今後も山下医科器械は、医療現場をサポートし続けるために、更なる進化を図ってまいります。

yamashita
TOTAL MEDICAL SUPPORT

第2四半期（累計）売上高 **185億65百万円** 第2四半期（累計）経常利益 **74百万円** 第2四半期（累計）純利益 **△3億52百万円**



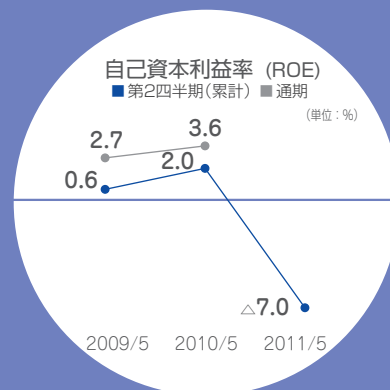
通期の業績予想について

本年度下期におきましては、内視鏡の上位機種での売上増や、処置具新製品の投入効果が見込める低侵襲治療分野、CT・MRI等の画像診断機器部門での売上増を見込んでおります。また、医療ガス工事等の病院設備工事の竣工が年度後半に集中しており、設備部門でも計画を上回る見込みであります。一方、一般機器分野では、医療機器備品や理化学備品について前期ほどの大型案件がなく、期初予想を下回る見込みであります。

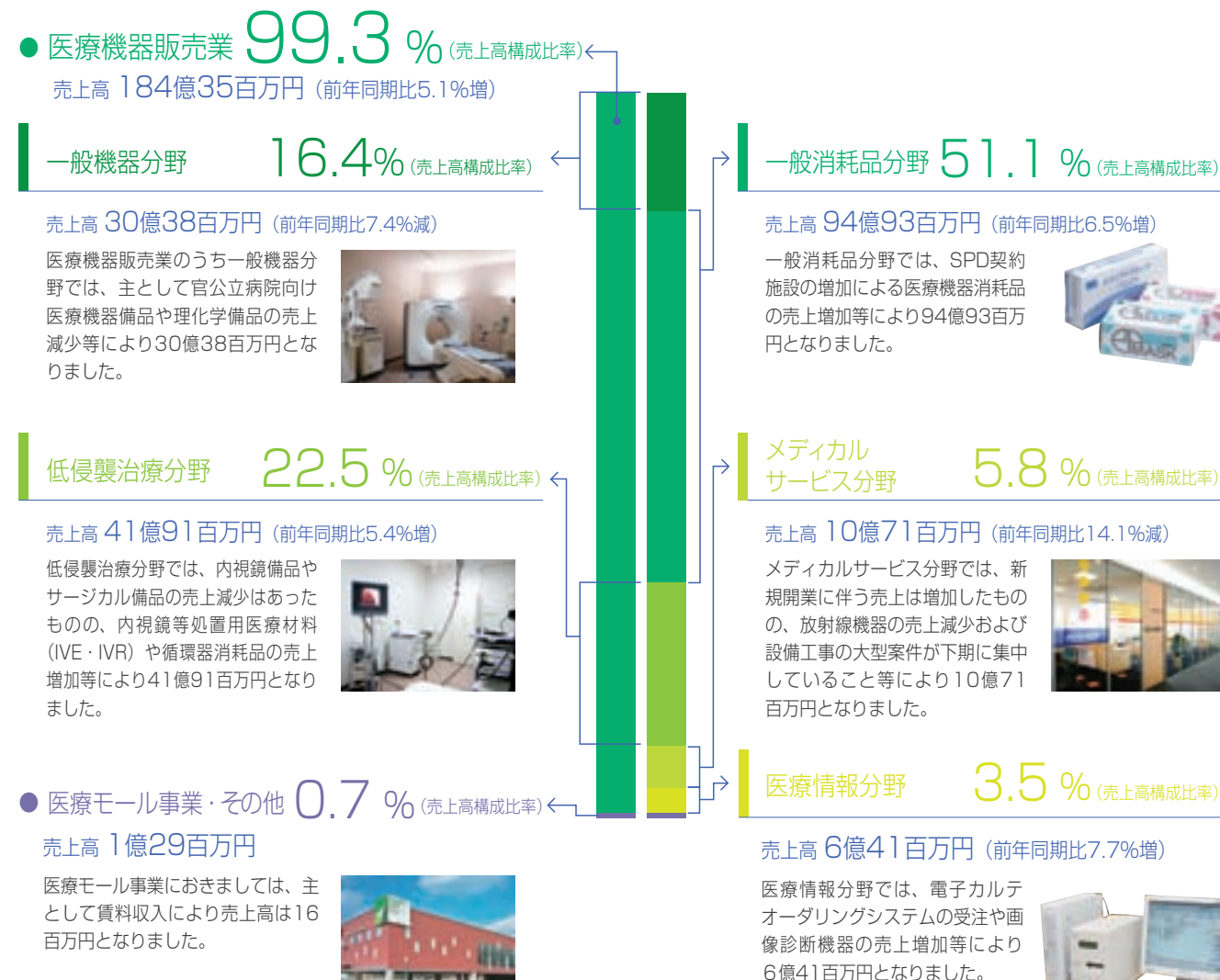
これらの結果、通期の連結業績予想につきましては、売上高は394億55百万円（前期比0.1%増）、営業利益は1億38百万円（前期比50.2%減）、経常利益は2億8百万円（前期比42.0%減）を見込んでおりますが、当第2四半期連結累計期間における特別損失の計上により当期純損失を3億10百万円と予想しております。

本年度は、大型設備案件の減少や一般消耗品分野における償還価格引き下げの影響等、厳しい状況にあり、医療機器販売業界の競争も一層激化しておりますが、消耗品分野におけるシェア拡大、高付加価値商品の販売促進を図るとともに、引き続き、既存市場の再強化、重点事業分野の強化・拡大に注力してまいります。また、生産性の改善・向上を支援する流通・業務システムの構築など、次期3カ年へ向けた事業基盤の確立を図るべく、各施策に全力で取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。



当第2四半期連結累計期間の部門別の状況





CLOSE UP

「低侵襲治療」

医薬品市場規模6兆円に対して、医療機器市場規模は2兆6,000億円といわれており、医療・ヘルスケア市場の中で今後も大きく成長することが予想される市場です。高齢化社会の進展に伴い、国民医療費は35兆円を超え、その約50%を65歳以上の高齢者医療費が占めます。一方、度重なる医療制度改革により医療機関の機能分化も進んでおり、わが国の医療インフラはさらなる整備を求められる環境となっています。

このような中、当社が力を入れている成長分野の一つが「低侵襲治療分野」です。この分野は、医療費抑制政策の柱の一つである「入院日数の短縮」とも深く関わっています。低侵襲治療は、患者の身体的負担を低減し、日帰りまたは短期間での退院を可能にするなど、患者のQOL (quality of life) 向上だけでなく、医療機関の効率改善・収益向上にも繋がります。今後も、医療技術の進歩とともにあらゆる診療科目へとその応用範囲が拡大していくことが予想されます。

当社では、高度医療・急性期医療の発展とともに多様化・高度化する医療現場のニーズを的確に捉え、あらゆる側面から確実にサポートできる体制を構築しています。

* 低侵襲治療：なるべく患者の体に傷を付けず、できるだけ身体的負担をかけることなく治療・手術。



会社概要・株式の状況 (2010年11月30日現在)

会社概要

会社名	山下医科器械株式会社 YAMASHITA MEDICAL INSTRUMENTS CO.,LTD.	
創業	1926 (大正15) 年8月	
設立	1950 (昭和25) 年4月	
資本金	4億9,402万5,000円	
本店	〒857-8533 長崎県佐世保市湊町3番13号	
	〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通三丁目6番15号	
福岡本社	福岡県福岡市中央区渡辺通三丁目6番15号 NOF天神南ビル6階	
従業員	512名 (連結)	
役員	代表取締役社長	山下 尚登
	取締役	嘉村 厚
	取締役	北野 幸文
	取締役	土田 哲也
	取締役	吉野 敏彦
	取締役	伊藤 秀憲
	取締役	山下 耕一
	取締役	佐田 高之
	取締役	小高 喜久夫
	常勤監査役	松尾 正剛
	監査役	石橋 政宏
	監査役	山下 俊夫
連結子会社	株式会社イーピーメディック	

株式の状況

発行可能株式総数	8,000,000 株
発行済株式の総数	2,553,000 株
株主数	2,353 名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
山下 尚登	448,400	17.57
山下 耕一	274,900	10.77
株式会社ミック	222,952	8.74
山下 弘高	80,000	3.13
株式会社ウイン・インターナショナル	76,500	3.00
山下医科器械社員持株会	70,032	2.74
オリンパスメディカルシステムズ株式会社	60,000	2.35
株式会社親和銀行	48,000	1.88
山下 浩	43,000	1.68
株式会社大黒	42,400	1.66

* 持株比率は発行済株式の総数から自己株式890株を控除した株数に対する比率を表示しております。

株主優待制度について

当社は、株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に保有いただける株主様の増加を図ることを目的として、年2回、第2四半期末時点および期末時点での株主様に対して、株主優待を実施いたしております。

● 株主優待制度の内容について

- ① 対象株主
毎年11月30日および5月31日現在の株主名簿に記録された1単元(100株)以上保有の株主様を対象といたします。
- ② 優待の内容
毎年11月30日および5月31日現在の下記基準の保有株式数に応じて、当該商品を贈呈いたします。

保有株式数	優待品
100株~999株	500円相当のクオカード
1,000株~1,999株	1,000円相当のクオカード
2,000株以上	1,500円相当のクオカード

③ 贈呈の時期

11月30日現在の対象株主様 → 2月下旬
5月31日現在の対象株主様 → 8月下旬



株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
剰余金の配当基準日	5月31日 中間配当を行う場合は11月30日
定時株主総会	毎年8月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都港区和泉2-8-4
電話 お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払い明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

電子公告
http://www.yamashitaika.co.jp
ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

WEBサイトのご案内
↑ 山下医科器械ホームページ



http://www.yamashitaika.co.jp

▶ 医院開業の道しるべ



http://www.kaigyochi-michishirube.com

▶ 東手城ヘルスケアモール



http://www.healthcare-mall.jp

▶ 医療のプロによる専門通販サイト



http://secolle.com